

2017 年 3 月 31 日
東日本旅客鉄道株式会社

海外メーカー製品の実車搭載試験を実施します

- JR 東日本では、資材調達に関し、高品質で安価、かつ十分なアフターケアが行われる製品を、適切な時期に調達することを基本としています。また、取引に際しては、信義誠実の原則に従い、国の内外を問わない無差別で公平・公正な取扱いを行っています。
- 当社資材調達情報ホームページ内の新規取引申込フォームに申込みがあった企業・製品については、審査を進めていますが、このたび海外 3 社の製品について、二次審査の一環として実際の車両に搭載する製品試験を実施します。

1 試験を実施する審査メーカー及び審査製品

- アトラスコプコ社 (Atlas Copco)
本社：スウェーデン Stockholm、設立：1873 年
審査製品：コンプレッサー
- ルッキニーニ社 (Lucchini RS S.p.A.)
本社：イタリア Lovere、設立：1856 年
審査製品：車輪
- アルストム社 (Alstom SA.)
本社：フランス Saint-Ouen、設立：1928 年
審査製品：ダンパ

2 試験期間

- アトラスコプコ社製コンプレッサー：
2017 年 3 月より 1 年間程度
- ルッキニーニ社製車輪、アルストム社製ダンパ：
2017 年 5 月以降準備でき次第、1 年間程度

3 試験後の契約手続きの流れ

実車搭載試験内容やその他審査項目を踏まえ、各社審査対象製品が「標準的な契約手続きの流れ」における二次審査に合格した場合、取引基本契約を締結し、当社の登録取引先といたします。

(参考：<http://www.jreast.co.jp/order/procurement/standardflow.html>)

以上